

## 令和6年度 学校教育自己診断結果について

### (1) 回収数

【保護者】 500

【生徒】 740

【教員】 24

### (2) アンケート項目一覧

#### 1. 保護者アンケート 質問項目

質問1：学校は教育方針をわかりやすく伝えている。

質問2：成績について、学校は家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている。

質問3：学校は将来の進路や職業などについて適切に指導を行っている。

質問4：学校の生徒指導の方針に共感できる。

質問5：保護者からの相談があれば、学校は適切に対応してくれる。

質問6：学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。

質問7：子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。

質問8：テストの得点だけでなく、課題の提出や出席状態なども含めて学習の評価を行っている。

質問9：学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきとしている。

質問10：子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。

質問11：学校行事（ペナント・体育大会・河南フェスティバル・遠足・修学旅行など）は積極的に参加できるよう工夫されている。

質問12：学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育成している。

質問13：地震や台風などの場合の対応については、子ども保護者に行動マニュアルが知らされている。

質問14：学校は、教育情報（進路情報や学校教育活動に関する情報）について提供の努力をしている。

質問15：子どもの個人情報を、守っている。

質問16：この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。

質問17：学校での出来事・友達・進路などについて、子どもと話す機会を持っている。

質問18：学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。

質問19：学校のホームページや学校からのメール配信をよく見る。

質問20：子どもの高校生活全般に満足している。

#### 2. 生徒アンケート 質問項目

質問1：学校へ行くのが楽しい。

質問2：学校生活に関して先生の指導は適切である。

質問3：全体的に授業はわかりやすい。

質問4：授業以外の補習や講習が充実している。

質問5：先生の教え方には、さまざまな工夫がなされている。

質問6：授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。

質問7：授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。

質問 8 : 自習室を利用したいと思う。

質問 9 : 学校は生徒 1 人に 1 台端末を効果的に活用している。

質問 10 : 生徒の興味、関心、適性、進路に応じて選べる選択科目が多い。

質問 11 : 先生は、学校生活の問題を見逃さず対応してくれる。

質問 12 : 担任の先生以外にも保健室の先生や相談室の先生など、気軽に相談することができる先生がいる。

質問 13 : 将来の進路や生き方について考える機会がある。

質問 14 : 学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。

質問 15 : 学校行事（ペナント、体育大会、河南フェス、遠足、修学旅行など）は楽しく、充実している。

質問 16 : 河南高校生は部活動に積極的に参加している。

質問 17 : 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。

質問 18 : 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。

質問 19 : 人権について学ぶ機会がある。

質問 20 : 個人情報を守られている。

質問 21 : 学校で地震や火災などの災害がおこった場合、どのような行動をとればよいかを知らせている。

質問 22 : 教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいよう整備されている。

質問 23 : 学校のホームページや学校からのメール配信、クラスルームでの配信をよく見る。

質問 24 : 総合的には、河南高校の生活に満足している。

### 3. 教員アンケート 質問項目

質問 1 : 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。

質問 2 : 成績について、学校は家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている。

質問 3 : 進路指導について、将来の進路や職業など適切な指導を行っている。

質問 4 : 様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる。

質問 5 : いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。

質問 6 : 保護者からの相談があれば、すぐに応えている。

質問 7 : 生徒の学習意欲や学習状況を踏まえて、授業を工夫するなど授業改善を行っている。

質問 8 : 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。

質問 9 : 学校行事（ペナント・体育大会・河南フェスティバル・遠足・修学旅行など）が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。

質問 10 : 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。

質問 11 : 災害に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確にされている。

質問 12 : 学校は、教育活動に必要な内容について、生徒保護者や地域への周知に努めている。

質問 13 : 学校は、生徒の成績、進路等の個人情報を守っている。

質問 14 : 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。

質問 15 : 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。

質問 16 : この学校ではカウンセリングマインドをもって生徒指導を行っている。

質問 17 : 生徒一人一人が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるようきめ細かい指導を行っている。

質問 18 : 情報提供の手段として、学校のホームページや学校メール配信が活用されている。

質問 19：他の教員の授業を見学できる機会が多い。

質問 20：教育の諸問題や最新情報を把握し、資質向上に努めている。

質問 21：様々な研修を通じて研鑽に取り組んでいる。

### (3) 各資料について

昨年比： 昨年との増減を矢印で表しています。

|            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| ↑ 10%以上 増加 | ↗ 5～10% 増加 | ↗ 3～5% 増加 |
| ↓ 10%以上 減少 | ↘ 5～10% 減少 | ↘ 3～5% 減少 |

### (4) 保護者アンケート結果から

昨年度と比較し、肯定的評価が3%以上変化したものは、質問7「子供は、授業が分かりやすく楽しい」と言っている。」、質問14「学校は、教育情報（進路情報や学校教育活動に関する情報）について提供の努力をしている。」、質問16「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」の3項目である。いずれも3%の上昇となっている。授業、進路の面で数値が上昇しているのは大きなポイントであると言える。

また、肯定的評価は「1 あてはまる」と「2 ややあてはまる」がそれに該当する。いずれかで回答した場合は肯定評価となる。そのため肯定的評価の数値としての変化は無いが、「1 あてはまる」の回答が増加している項目が多かった。9項目において「1 あてはまる」の数値が5%以上上昇した。

### (5) 生徒アンケート結果から

肯定的評価が5%以上上昇した項目が11項目あり、質問2「学校生活に関して先生の指導は適切である」、質問3「全体的に授業はわかりやすい」、質問4「授業以外の補習や講習が充実している」、質問5「先生の教え方には、様々な工夫がなされている」、質問6「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」、質問7「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」、質問8「自習室を利用したいと思う」、質問9「学校は生徒1人に1台端末を効果的に活用している」、質問11「先生は学校生活の問題を見逃さず対応してくれる」、質問12「担任の先生以外にも保健室の先生や相談室の先生など、気軽に相談することができる先生がいる」、質問23「学校のホームページや学校からのメール配信、クラスルームでの配信をよく見る」において5～8%以上の上昇であった。

いずれの項目も数値は高いものが多い。そのため次年度はこの数値を維持しながら肯定的評価の中で「1 あてはまる」「2 ややあてはまる」の割合にも着目していく必要がある。

### (6) 教員アンケート結果から

肯定的評価が5%以上上昇したものが5項目あり、質問1「学校は教育方針をわかりやすく伝えている」、質問4「様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる」、質問10「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる」、質問12「学校は教育活動に必要な内容について、生徒保護者や地域への周知に努めている」、質問15「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」である。これらの項目で5～13%上昇した。

また3項目において肯定的評価が5%低下した。質問3「進路指導において、将来の進路や職業など適切な指導を行っている。」、質問6「保護者から相談があれば、すぐに応えている。」、質問8「学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。」の項目である。

これらの結果から指導関連においてはきっちりとやるべきことを果たしていると考えている一方で、保護者の意見はあまり取り入れていないと考えている教員が多い。学校としての方向性や指導をまとめていく一方で、多方面の意見にも傾聴することも必要であると考えます。

(7) 教員・保護者アンケートから

昨年度のアンケート結果でもそうであったが、保護者と教員との間で、「成績について、学校は家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている。」では、保護者での肯定的評価が 73%、教員が 92%と大きく差があり、保護者とつながる機会を増やす工夫をしなければならないと考える。

【全体を通して】

- (1) 保護者からの評価は、大きな変化はないが、1 の回答割合が増えた。
- (2) 生徒からの評価は、大きく上昇しているものが多かった。
- (3) 教職員からの評価は、上昇しているものが多いが、減少しているものもある。
- (4) 授業関連の評価は、生徒・保護者ともに大きく上昇している。

【まとめ】

- (1) 生徒の回答結果は大きく上昇しているものが多く、非常に高い評価となっているものが多い一方で、保護者の回答は子どもの評価に比例していない項目があり、記述でも一定の不満を抱えていることが感じられる回答が多かった。連絡方法を工夫し、学校の情報を保護者向けに発信し、学校の様子などを保護者に知ってもらうことが解決の糸口になると考える。
- (2) 生徒や保護者の回答がどちらも施設に関する内容が多かった。学校の施設については教員の努力ではどうすることもできないものも多いが、予算の分配や、老朽化の進んでいる場所への改善を要望していくことが必要なのかもしれない。